

第 7 章

環境保全啓發活動

第7章 環境保全・啓発活動

一持続可能な社会を目指して—

私たちの、大量生産・大量消費・大量廃棄といった生活が地球温暖化や生物多様性の損失といった地球環境問題につながっています。

環境を保全し、持続可能な社会の実現のためには、環境に配慮した行動やライフスタイルを実践することが大切です。

令和3年度は、市民への環境保全活動・啓発として、COOL CHOICE普及啓発事業としての環境教育やかたの環境講座を開催するとともに、環境基本計画の推進など市民と協働の取組を推進しました。また、市役所の事務事業からの環境負荷低減に努めました。

また、令和4年3月には、第2次環境基本計画の策定にあわせ、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「カーボン・ゼロシティ宣言」を表明しました。

1. 環境教育

地球温暖化対策をはじめとする環境問題への対策は、市民一人ひとりの行動変容が求められます。環境とそれに関わる問題に気づき、関心を持つことから行動に繋げられるよう、各種事業を展開しました。

(1)かたの環境講座

自然とのふれあいの中から、環境の大切さ・貴重さに気づき、環境を守る行動への喚起となるよう、交野いきものふれあいセンターの自然学習と共に開催しました。

内 容:「初冬のバードウォッチング」

日 付:令和3年11月21日(日)

講 師:交野野鳥の会

受講者数:16名

(2)学校での環境教育

地球温暖化の現状について知り、考え、行動変容に繋げるための気づきの機会として、環境教室を実施しました。

実施校:妙見坂小学校、星田小学校、旭小学校

対 象:4年生

日 付:令和3年11月9日(火)、25日(木)、12月16日(木)

協 力:交野市環境基本計画推進会議

2. 環境基本計画の推進

交野市環境基本計画推進会議(交野みどりネット)と協働で4つの分野ごとに基本計画にあるプロジェクトを推進しました。

令和3年度は本計画の最終年度となり、これまでの各分野における取組から得られた知識・経験を活かし、時期計画へつながるような活動を行いました。

(1)自然環境分野

プロジェクト1「里山を知ろう・里山大好き」では観察調査会を5回実施しました。プロジェクト2「実践!里山保全活動」では、実践活動を30回行い、里山の整備・保全に努めました。自然環境プロジェクトに関する講座は7回実施しました。累計387名の参加がありました。

(2)エコ生活分野

プロジェクト2「やる気ができるエネルギー・ダイエット」では省エネを行う意義と実践に向けての取り組みとして、みどりのカーテン、家庭の省エネ診断を実施しました。みどりのカーテンについては公

共施設2か所で巡回写真展を行い、市民への省エネ、エコ意識の向上に努めました。プロジェクト6「環境学習の場をつくろう」ではゴミを減らす工夫、自然循環について学びました。累計96名の参加がありました。

(3) エネルギー分野

地域資源循環システムとその主要施設の視察を行いました。

(4) まちづくり分野

プロジェクト1「自転車の似合うまち・かたの」及びプロジェクト2「自転車のマナー向上大作戦」に関する事業では、市内を巡るサイクリングツアーや2回の自転車の安全・安心・楽しい乗り方の啓発活動を行いました。累計31名の参加がありました。

(5) 環境基本計画の推進に関する普及啓発

ウォークラリーを開催し、環境に関するクイズを実施することで、啓発を行いました。参加者は291名でした。

ウェブサイトの公開を通じて、交野市環境基本計画及び交野市環境基本計画推進会議について、周知を行いました。

(6) 第二次交野市環境基本計画の策定

第一次環境基本計画期間が終了することにより、現状の環境情勢に則し、未来へつなぐ環境づくりを推進するために「第二次交野市環境基本計画」を策定しました。

〈交野市環境審議会〉3回開催

〈ワークショップ〉6回開催

〈ジュニア委員会〉2回開催

〈市民アンケート〉回答数617名

〈パブリックコメント〉(市民)5件(府内)3件

3. 環境マネジメントシステムの推進

本市事務事業における環境負荷の低減のため交野市環境マネジメントシステム(K-EMS)運用し、温室効果ガス排出量の削減等環境負荷低減に努めました。

(1) 会議・研修の開催

環境マネジメントシステムの円滑な運用を目的に、推進本部会議を2回開催しました。

職員に対し、環境マネジメントシステムへの理解、取組内容の熟知、環境問題への理解等を目的に、研修を実施しました。

(2) 監査の実施

環境マネジメントシステムの適正な運用を点検・評価するため、内部監査(自己監査)と専門家による外部監査(2次監査)を実施しました。

○内部監査(自己監査)

実施日:令和3年9月1日～令和3年9月22日

○2次監査

実施日:令和3年10月11日

対象部局 事務局

監査員 専門家3名

○監査結果概要

交野市環境マネジメントシステムは、交野市環境マネジメントシステムマニュアルに従って、妥当であり、適正に運用され、有効に機能していることを確認できました。

(3) 目標達成状況

K-EMSでは事務事業において排出される温室効果ガスの削減及び環境負荷低減のため、目標を掲げ、省エネルギー・省資源の取組を推進しています。令和3年度の目標及び結果は次のようになります。

①令和3年度 温室効果ガス削減取組結果一覧

温室効果ガス排出量については、平成26年度を基準として、令和3年度までに6%削減することを目指としています。

項目	R3年度結果	基準値【H26年度】	削減率
電気使用量(kWh)	14,121,069	14,180,522	0.4%
ガソリン使用量(L)	55,191.7	57,294	3.7%
軽油使用量(L)	44,877.7	67,632	33.6%
灯油使用量(L)	8,264.0	168,152	95.1%
LPG使用量(kg)	13,841.5	18,923	26.9%
都市ガス使用量(m ³)	603,529.8	248,577	-142.8%
温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	6,816	8,782	22.4%

②令和3年度 環境負荷低減取組結果一覧

項目	目標	R3年度結果	基準値	基準値との比較
水使用量(m ³)	R3年度までにH26年度対比6.0%削減	107,647	157,929	31.8%
廃棄物の排出量(袋)	前年度より削減	40,174	37,743	2,431袋増加
コピー用紙の購入量(枚)	前年度より削減	8,330,063	8,911,306	581,243枚減少
太陽光発電の設置数(基)	R3年度までに3基以上設置	7	—	5基設置
低公害車の導入量(台)	R3年度までに10台以上導入	16	—	16台導入
環境に配慮した施策事業数	前年度より増加	112	98	14增加